

報告書抄録

ふ り が な	にしがわらみやのうちいせき ひるたほうでんいせき ゆのべいせき							
書 名	西河原宮ノ内遺跡 比留田法田遺跡 湯ノ部遺跡							
副 書 名	主要地方道近江八幡守山線道路改築事業に伴う発掘調査報告書							
シ リ ー ズ 名	滋賀県文化財保護協会調査報告							
シリーズ番号	第1集							
編 著 者 名	内田保之 辻川哲朗 阿刀弘史 小林裕季							
編 集 機 関	公益財団法人滋賀県文化財保護協会							
所 在 地	滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発 行 年 月	令和6年（2024年）3月							
ふ り が な 所 収 遺 跡	ふりがな 所在地	コ ー ド		世界測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
にしがわらみやのうちいせき 西河原宮ノ内遺跡	しがけん 滋賀県	252107	342-008	35度05分50秒	136度01分15秒	20201101	13,520㎡	道路建設
ひるたほうでんいせき 比留田法田遺跡	やすし 野洲市		342-016	35度06分14秒	136度01分17秒	） 20210531	1800㎡	
ゆのべいせき 湯ノ部遺跡	にしがわら 西河原		342-010	35度05分46秒	136度01分10秒		690㎡	
所収遺跡名	種 別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
西河原宮ノ内遺跡 比留田法田遺跡 湯ノ部遺跡	集落跡	弥生時代中期		溝		弥生土器		木簡6点 出土
		弥生時代後期		方形周溝墓		弥生土器		
		古墳時代		溝		須恵器・土師器		
		飛鳥時代 奈良時代		掘立柱建物・柵・流路・溝		須恵器・土師器・鉄滓・ 轆羽口・木製品		
		鎌倉時代 江戸時代		耕作溝群		土師器・黒色土器・ 信楽・瓦質土器・瀬戸		
要 約	・ 弥生時代から古墳時代にかけては、遺構・遺物とも希薄で、遺跡の縁辺部とみられる。 ・ 飛鳥時代から奈良時代の西河原宮ノ内遺跡では、木簡6点をはじめ、転用硯が15点出土するなど、官衙の様相がみてとれる。 ・ 鎌倉時代以降は、全体的に耕作溝が検出され、現代に通じる条里地割の耕作地が成立した。							